

従業者向

令和7 放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		特になし。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		特になし。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	児童によって分かりやすさに差があるため、視覚的な表示や環境設定をさらに工夫していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		特になし。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		特になし。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		今後も定期的に振り返りの機会を設け、支援の質の向上につなげます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		特になし。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		特になし。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		今後も外部の意見を取り入れる機会を確保していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		今後も継続して研修機会を確保し、専門性の向上を図ります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		5領域との関連性を踏まえた支援プログラムを作成し、支援内容が分かるよう公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		本人・保護者への聞き取りや日々の支援記録、関係機関からの情報等を踏まえてアセスメントを行い、個別支援計画を作成しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		個別支援計画の作成にあたっては、児童発達支援管理責任者だけでなく、支援に関わる職員の意見も取り入れています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		個別支援計画の目標や支援内容を職員間で共有し、計画に沿った支援を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日々の活動や対人関係、生活面等の行動を継続して記録・確認し、アセスメントや支援の見直しに活用しています。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	本人支援の5領域に加え、家族支援、移行支援、地域支援・地域連携についても、本人や家族のニーズを踏まえて計画に位置付けています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	活動内容について職員間で意見を出し合い、児童の発達段階や興味・関心、課題を踏まえて立案しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	SST、運動、制作、ゲーム、外出活動等を取り入れ、活動内容が固定化しないよう工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	児童の特性や状態に合わせて、集団活動だけでなく個別対応や休憩等も取り入れながら支援しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	活動前に利用児童や活動内容、役割分担、注意事項等を職員間で確認し、共通理解を持って支援しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	支援中に気づいたことや児童の行動について職員間で共有し、次の支援につなげています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	日々の支援内容や児童の行動、職員の対応等を記録し、今後の支援や個別支援計画の見直しに活用しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	定期的にモニタリングを実施し、本人・保護者の意向や支援経過を確認した上で、必要に応じて個別支援計画を見直しています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	日常生活、遊び、地域交流、本人が主体的に取り組める活動等を組み合わせ支援しています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	活動内容や参加方法等について選択肢を提示し、児童自身が選択・意思表示できる機会を設けています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	担当者会議等には児童の支援状況を把握している職員が参加し、事業所での状況や支援内容を共有しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	相談支援事業所、学校、医療機関等と必要に応じて情報共有し、関係機関と連携した支援に努めています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	学校との送迎時のやり取りや必要時の連絡等を通して、下校時刻や学校での状況について情報共有しています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	情報共有が必要なケースでは、保護者の同意を得ながら連携を進めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	将来のサービス移行を見据え、必要に応じて支援内容や配慮事項を関係機関へ引き継げるよう意識しています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	今後も助言や研修を受ける機会を確保していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	外出活動や他事業所との交流等を通して、事業所以外の児童や地域と関わる機会を設けています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	今後も地域の関係機関との連携を深めていきます。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時やLINE等を通して日頃の児童の状況を保護者へ伝え、家庭での状況についても確認しながら共通理解を図っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	ペアレント・トレーニング等の体系的な家族支援や、保護者が参加できる研修・情報提供の機会をさらに検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		特になし。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		特になし。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		特になし。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		今後も相談しやすい関係づくりに努めます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		4	保護者のニーズや事業所の状況を踏まえ、保護者同士やきょうだいが交流できる機会について今後検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		相談や苦情があった場合には内容を職員間で共有し、状況を確認した上で速やかに対応しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		LINE等を活用し、活動予定や行事、持ち物、事業所からのお知らせ等を保護者へ発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		今後も職員間で個人情報の取扱いについて確認を行います。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		児童や保護者の理解度や特性に合わせて、言葉の伝え方や視覚的な情報提示等を工夫しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	地域とのつながりを深める方法について、安全面や事業所の状況を踏まえながら検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各種マニュアルを整備し、緊急時等の対応について職員間で確認するとともに、必要な訓練を実施しています。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	訓練の実施方法や役割分担についてさらに共有し、職員全員が確実に対応できる体制づくりを進めます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		特になし。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		医師の指示書が必要となる場合の対応について、改めて確認していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画に基づき、事故防止や防災、防犯等について職員間で確認し、研修や訓練を実施しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		安全計画の内容をより分かりやすく保護者へ伝える方法を検討していきます。

非常時等の対応	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットや事故があった際には職員間で共有し、原因や対応方法を確認して再発防止につなげています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		今後も定期的な研修と振り返りを継続します。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		身体拘束を行わない支援を基本とし、児童の特性や行動の背景を踏まえ、環境調整や声かけ等による対応を職員間で検討しています。